

市報

とす

今号の内容

CONTENTS

検証 ごみ…………… 2



市三役が高齢者上位10人を慰問…………… 4

弥永さんがスピーチコンテストで最優秀… 6

10月15日(日)は市民健康福祉まつり…………… 8

在宅福祉サービスを後押し……………10

消えゆく民具「炬燵」……………11

ふるさと再発見「田代売薬・後編」……………12



東横綱の久保フミさん



西横綱の西村ハツさん

西					平成 七年 鳥栖市長 長寿者番付	東				
前頭	小結	関脇	大関	横綱		前頭	小結	関脇	大関	横綱
江崎三三ノ	栗山チト	柴藤行男	松田ナツ	西村ハツ	重松米一郎	筑紫サダ	有馬保男	原岡フミヨ	久保フミ	
97	97	98	99	102	97	98	99	99	102	
轟水	立石	桜	平田	幸津	原儀徳	高田	田代昌	永吉		
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
原	吉松	石丸	松尾	下川	田中	福島	岡	森	松	
チトセ	ハツエ	ヒテ	勝次	フテ	三浦	ミユキ	フサヨ	芳江	恒雄	
95	95	96	96	96	96	96	96	96	97	
東	大宮	藤本	田代本	古野	田代昌	平田	村方	江島	藤上	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
神辺	神辺	平田	村方	江島	藤上	酒井	西			

行司市報とす(敬称略)
平成七年九月九日現在

いつまでもお元気で

久保さん、西村さんが生まれたのは明治25年。2歳の時に日清戦争、12歳で日露戦争を経験。広島、長崎に原爆が投下され、第2次大戦が終結した時は52歳。日本の現代史を見続けてきたその瞳の中には戦後50年の今年、世の中がどう映っているのでしょうか。

(関連記事を4ページに掲載)

10 平成7年 No. 791
1日号

証 検 ごみ

指定袋・シール制で 可燃ごみ16.6%減

衛生処理場に搬入された可燃ごみの量は、平成五年八月から昨年七月までが一万八千四百三十七トで、指定袋・シール制が導入された昨年八月から今年七月までが一万七千

「ごみの減量化とごみに対する市民意識の向上を目指した「指定袋・シール制」導入から八月で一年が経ちました。このほどまとまった制度導入後のごみの集計結果と、市におけるごみ問題に関する現状をご報告します。

ことになりました。

鳥栖市の場合、指定袋・シール制導入前の平成元年度から五年度までの可燃ごみの量は、年平均で約四百トずつ増加してきており、これからも指定袋・シール制の効果があつたことがわかります。

百七十六トと、量で千二百六十一ト、率ですると六・八四%減少したことになります。このうち、事業所などからの直接搬入分を除いた家庭からの定期収集分だけを比較すると、一万三千四十八トから一万二千百九十二トに二千二百二十六ト減少、率にして一六・五九%と大幅に減少した

不燃物、粗大ごみの量は導入前がトラックの台数などによる概算の数字しかないため、導入後との正確な比較はできませんが、量は大幅に少なくなっています。

再生できる空きビンを含む「有害物」に分別して収集。粗大ごみも不燃性のものと可燃性のものに分けて隔月ごとに戸別収集をしています。

ここまではみなさんもご存じだと思いますが、各家庭から出されるごみがそれぞれどうなっているかご存じでしょうか。

再生できる空きビンは透明と茶色に手選別

ごみは、台所くずや新聞紙、ペットボトル・木くずなどの「可燃ごみ」と、ビン・ガラス類、空き缶・金属類といった「不燃ごみ」、テレビ・冷蔵庫・自転車・家具・カーペットといった「粗大ごみ」の三種類に大きく分けられます。

「可燃ごみはビン・ガラス類、空き缶・金属類のほか、乾電池・蛍光管・体温計など水銀

不燃ごみはビン・ガラス類、空き缶・金属類のほか、乾電池・蛍光管・体温計など水銀

可燃ごみ、可燃性の粗大ご

鳥栖環境開発総合センター業務部長の立石光春さん



「分別収集になる以前は生ごみや粗大ごみが混じり量も多かったので、作業も手間どり苦労していました。分別収集になってからは作業もスムーズに。その日持ち込まれたごみはその日のうちに処理しています。」

みは衛生処理場で焼却、発生した焼却灰は場内の埋め立て地に埋め立て処分されます。

それぞれをプレス機にかけて縦六五センチ、横四二センチ、高さ三五センチの塊に。一塊が空き缶千

不燃ごみと不燃性の粗大ごみは市が委託している鳥栖環境開発総合センターに搬入。ビン・ガラス類のうち空きビンなど再生できるものは手作業で透明のものや茶色のものの二種類に選別され、再生処理業者へ。陶磁器など再生できないものは同センター南側にある不燃物処理場埋め立て地で埋め立て処分します。

約二十五キ、スチール缶で約五十五キあり、再生処理業者に引き渡します。有害物は、蛍光管は粉砕して、また乾電池はそのままドラム缶に密封して保管。一年分をまとめて、水銀を抽出できる北海道の専門業者へと送ります。

空き缶類は磁選機でスチール缶とアルミ缶に選別され、再生処理業者に引き渡します。

冷蔵庫や洗濯機など不燃性の粗大ごみは空き缶と同様、再生処理業者に引き渡します。

年間のごみ処理経費は一世帯約2万4千円

次に、種類別に一年間のごみの量を平成六年度の実績で見えます。

このうち、空きビン約三百五十ト、スチール缶約四百二十ト、アルミ缶約四十一トが

可燃ごみは約一万七千八百三十ト（市民一人当たり約三百十八キ）、不燃ごみは約三千六十一ト（同約五十五キ）で、

再生処理業者へ引き渡され、乾電池、蛍光管といった有害物は約〇・九ト（ドラム缶三十三本分）でした。



分別収集になってセンターでの作業もスムーズに

リサイクル活動を 応援しています

粗大ごみは約四千五百三十九、このうち取り出した金属類約千二百九、を再生処理業者へ引き渡しました。これらのごみを処理するのにいくらかお金がかかったかを

家庭からごみとして出される中には、リサイクル（再利用）できるものが、まだまだたくさん残っています。例えば、新聞紙や雑誌、段ボール、布類、トレーなどはリサイクルできる大切な資源です。

市ではごみの減量化と資源の再利用を進めるため、平成



回収したトレーを運ぶ白鳩園の園児たち

見ると、衛生処理場などで行っているごみ焼却、収集処理の経費は合計四億千三百二十五万円。一世帯当たり換算すると年間二万三千七百五十円かかったこととなります。

三年度から子供クラブや婦人会、PTAなど自主的に資源回収活動を行う非営利の市民団体に「資源回収推進奨励金」を交付しています。

平成五年度は四十一団体が約七百の資源ごみを回収、約百四十二万円の奨励金を交付しましたが、昨年度は大幅

に増加。六十四団体が約千五百を回収し、約一千万円の奨励金を交付しました。資源ごみの集団回収は、ごみの減量化と資源再利用に役立つだけでなく、住民のリサイクル意識が高まり、地域のコミュニケーションにも役立っているのです。

また、生ごみの減量化を進めるため、家庭から出る生ごみを自家処理して園芸用の堆肥を作ることができる「生ごみ処理容器コンポスター」を購入される方に価格の半額を補助しています。（ただし、市があっせんしたものに限る。）

平成五年度は七百六十個に二百十九万円を、昨年度は大幅に増えて千二百六十二個に三百六十一万七千円を補助しました。

空き缶の散乱防止と資源再利用への市民の意識向上を狙

基里地区婦人会会長を務める高尾玲子さん



「エフピコからトレー回収のお話があり、以前から交流が続いている白鳩園と取り組むことになりました。子供たちも小さい時から環境問題に関心を持つことができ、回収量も回を重ねることに増えています」

市民団体独自でトレー回収やフリーマーケットの開催も

前述のような市のごみ減量化に向けた取り組み以外にも市民団体など独自での取り組みも増えてきています。

基里地区婦人会と白鳩園では今年七月から、スーパーなどで肉や魚をパッケージするのに使用する発泡スチロール

って市役所駐輪場に空き缶回収機「くうかん鳥」を設置。昨年度からは一台を二台に増設し、スチール缶約五十五万四千個、アルミ缶約六十万個を回収しました。

指定袋・シール制導入に伴い、ごみの出し方の周知徹底などの活動を行う「環境美化推進員」を各町区ごとにお願

しています。具体的な活動の内容は①ごみ排出日の現地指導②ごみの排出方法の住民への周知・指導③町区内の巡回と不当なごみ排出者への注意・指導――

などで、ごみ分別の徹底とマナーの向上、不法投棄の防止のために地域の中心的役割を果たしていただいています。

昨年度は六十八町区千四百人が活動され、合計約三百九十五万八千円を各町区に交付しました。

トレーの回収を月二回実施。基里地区の婦人会や園児が家庭から持ち寄ったトレーは東春振村に工場を持つ（株）エフピコが回収、トレーや植木鉢などに再生しています。

白鳩園では約二か月間で九千六十三個のトレーを回収しま

した。このほか、市内スーパーでも主婦の店ハロー、ニコニコ堂、コープ、寿屋、べんとうのヒライ、サニー、フレッシュいちご、Aコープの各店（個人商店などは未調査）が回収箱を設置し、トレー回収に取り組んでいます。

中間処理施設・最終処分場 広域一市四町で検討

私たちの生活レベルが向上するに従って、年々ごみの量も種類も増え続けてきました。

ごみ問題は全国の自治体に共通の課題であり、鳥栖市も例外ではありません。

その一つが中間処理施設となる衛生処理場の問題です。昭和五十一年に建設された施設そのものの老朽化に加え、

最近ではプラスチック類など高熱を発するごみが増え、炉内の耐火レンガの劣化が激しく、年間約九千五百円の補修費が必要となっています。

もう一つがごみを燃やしたあとに残る焼却灰の問題です。ごみは燃やせば終わりというのではなく、約一割は焼却灰として残ります。現在、この焼却灰は処理場内の埋め立て地で埋め立て処分されていま

が回収箱を設置し、トレー回収に取り組んでいます。また、若者を中心とした市民グループ・BR-COMP

ですが、埋め立て地も限界となつてきています。そこで市では平成五年二月同じような問題を抱える北茂安、中原、三根、上峰の四町と「鳥栖地区ごみ処理施設促進協議会」を設立。基本構想を策定し、中間処理施設と最終処分場の整備を含んだ総合的な廃棄物処理体系の確立を図るための検討を行っています。

一方、私たち自身は、ごみを「燃えるごみ」「燃えないごみ」ととらえるのではなく、「資源」と「処分されるごみ」として理解することが大切

です。一人ひとりが「資源」として考えることが分別収集の徹底、集団回収や不用品交換会への参加・協力といったリサイクル意識へとつながっていくのです。

高齢者上位10人を慰問

「長寿の秘けつは三食しっかりと」

市長から記念品を受け取る
市内最高齢の久保フミさん



九月十五日の敬老の日を前に同日、市長、助役、収入役が手分けして高齢者上位十人のみなさんを慰問、記念品を贈って長寿を祝いました。

市内最高齢（県内で八位）の久保フミさんは明治二十五年十月十五日生まれ、百二歳八年ほど前から基山町の病院に入院中で昨年、足を骨折し

て少し足が不自由ですが、食事もしっかり食べ、病院の間と童謡や民謡などを歌うのが楽しみ。この日も山下乡長から記念品を受け取った久保さんはお礼に「お座敷小唄」を披露しました。看護婦さんも「施設の人気者です」と話しています。

久保さんとはひと月遅れの十一月生まれで同じ百二歳の西村ハツさんは幸津町の自宅で市長から記念品を受け取りました。

「入浴や洗濯など身の回りのことはすべて自分でします。耳は少し遠くなりましたが、足腰は丈夫で、一日一回畑を見に行くのが日課。針に糸さえ通してやれば、雑巾縫いもこなし、三度の食事は「おいしい」と言って平らげます。

また、男性の市内最高齢は九十九歳の有馬保男さん（高田町）。耳が遠く、ひざが少し悪い以外は健康。昼食に大好物の寿しを食べるのが楽しみです。ひざが悪くなる半年ほど前まではテレビを見たり、新聞を読んだりしていました。

みなさんの長寿の秘けつは間食をせず、三度の食事をしっかりとることのようです。「みなさん、いつまでも元気で長生きしてください」。

敬老の日には各地区、各町区ごとにお祝いが開かれ、七十歳以上のお年寄りを招いて踊りや手づくり料理でもてなしました。

市でも八十歳以上の方千七百五十二人に九月四日から六日にかけて敬老祝金を支給、八十八歳以上の方三百六十八人には各町区の敬老会を通じて記念品を贈りました。

子供相撲大会

平田町が念願の初優勝

市内十六町区から十九チーム約百人が参加した鳥栖市子供相撲大会が九月三日、市民相撲場で開かれ、大人顔負けの力の入った取組に応援にか

けつけた父母らから歓声と拍手が沸き起りました。

団体戦の決勝は、平田町と

真木町Aが対戦し、

副将戦を終えて二勝二敗のタイ。ともに勝てば初優勝となる注目の大将戦は、激しい投げの打ち合いの末、平田町の野中庄次郎君が真木町の石井秀樹君を上手投げで破り、念



好取組に沸いた団体戦決勝

願の初優勝を飾りました。

また、個人戦決勝は安定した力を見せる神辺町の佐藤吉宏君が儀徳町の真田信司君を上手投げで破り、優勝を果たしました。

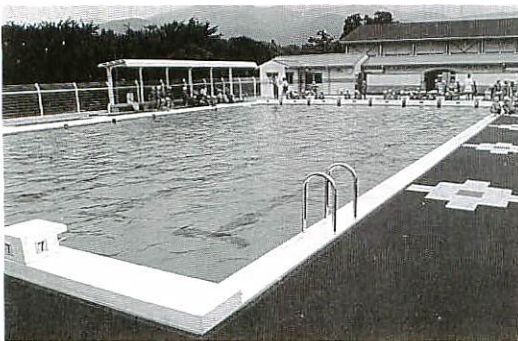
麓小プールが落成

麓小学校プールの落成式が九月十三日、同小プールサイドで行われ、式典には山下乡長はじめ五、六年の児童、教師など関係者約三百人が出席。市長、児童代表ら五人によるテープカットのあと、六年生児童など七人が模範泳法を披露して完成を祝いました。

新プールは、旧プールが三十年以上経過し老朽化が激しいため今年五月から建設を進めていたものです。児童らの利便性を考慮し、場所をこれ

までより三十メートルほど北側の体育館そばに移動。縦二十五メートル横十五メートルの大プールと縦十五メートル横五メートルの小プールのほか、男女別の更衣室、トイレ、センサー式シャワー、教官室などを備えています。

プール側面はステンレス製で、プールサイドにはカラフルな人工芝を敷きつめるなど太陽の光に映える明るい感じ。また、水の節約とプール掃除



最新設備を備え、明るい感じになった麓小プール

の手間を省くため循環浄水装置も導入しています。総事業費は約一億二千五百万円。

花とみどりの回廊づくり

ヒガンバナの球根植え付け

市が県の補助を受け、本年度から三年計画で取り組む「花と緑の回廊づくり事業」の球根の植え付け作業が八月二十日、田代公園から河内ダムまでの約三キロのコースで行われ、約三百人が参加して、ヒガンバナの球根約一万七千球をていねいに植えていきました。

親子で参加した今泉町の杉



球根をていねいに植え付ける参加者

本恵子さんは「花が咲くころにぜひもう一度、子供を連れ

て見に来たいですね」と自分たちが植えた球根がきれいな

花を咲かせるのを楽しみにしています。
今回植えたヒガンバナは赤い花のラジアータと白い花のアルビフローラの二種類。九月下旬から見ごろを迎えます。また、十月一日にも同じコースにアジサイ約二千本とスイセン約七千球を植え付ける予定です。

“生活の知恵”を教わりながら楽しく交流



中学生と老人クラブが キャンプで世代間交流

お年寄りと中学生に世代間の交流を深めながら福祉の心を学んでもらう「シルバークャンポリー」が八月十七日から一泊二日で開かれました。

同キャンポリーにはボランテニア協力指定中学校になっている田代、基里、鳥栖西の三校の生徒十九人と、ボランテニア活動に携わる老人クラ

ブのメンバー十五人が参加。社会福祉会館で車いすの取り扱いなどを勉強したあと、とりごえ荘に移動。二班に分かれて、夕食づくりや河内ダム周辺の空き缶拾いで汗を流しました。

夕食づくり担当の筒井浩子さん（田代中一年）は「涙の

やまびこ山荘に泊まった参加者は翌日、真心の園を見学入園者とレクリエーションなどでふれあい、ボランテニアの心を広げました。

第1回こどもピアノコンクール

奏でられる音色に会場も陶醉

十月一日に開かれる「戦後五十年記念行事・平和コンサート」での演奏者の選考を兼ねた「第一回鳥栖こどもピアノコンクール」が九月二日、中央公民館で開かれました。

務めた中村順子・福岡女子短期大学教授が「夏休みの練習の成果を十分発揮して、レベルの高いコンクールでした」と講評。グランプリには福岡市立原北小学校三年の森實泰司君が選ばれました。

各部門賞と市長賞、奨励賞の入賞者は十ページに掲載しています。

習い始めたのは六歳の時。日ごろ練習で注意されていることはあまり考えず、今日は思い切り弾くことができました」と笑顔でこたえていました。

夕食づくり担当の筒井浩子さん（田代中一年）は「涙の

コンクールには市内をはじめ、佐賀市や福岡市などから、幼児から高校生までの七十五

人が出場。ベートーベンやモーツァルト、ショパンなど思い思いの曲に挑みました。

なお、十月一日(日)午後六時からサンメッセ鳥栖で開かれる平和コンサートでは今回の市長賞、奨励賞の入賞者十五人がピアノ「フツペル」ですばらしい演奏を披露します。

会場には、三人の審査委員のほか、家族やピアノ指導者など大勢の人が訪れ、子供たちが奏でるピアノの音色に耳を傾けていました。

演奏終了後、審査委員長を



すばらしい演奏を披露する出場者

知覧スピーチ「戦争と私」で最優秀 コンテスト

弥永 佑香さん(鳥栖商二年、轟木町)

「忙しい中、聞きに来ていただいた方に、自分の考えていることを正確に伝えようと思っただけです」
終戦記念日の八月十五日、
見事、最優秀賞に輝きました。



同コンテスト高校の部には地元鹿児島をはじめ全国三十都府県から四百四十七人が応募。一次の原稿審査で十人に絞られ、二次のテープ審査に合格した四人が本選コンテストへ出場しました。

弥永さんは

鳥栖小五年の時、ピアノフッペル、保存運動や映画「月光の夏」の製作のきっかけとなった戦争秘話を全校集会で故上野歌子先生から聞いてショックを受けたと同時に自分の無知さに腹立たしさを覚えたことを記憶。それから鳥栖中三年の修学旅行で知覧特攻平和会館を訪問した時に知り合った会館職員との手紙

あんひと こんひと

③⑧ 番に備えました。

「私と題し」様々な思いを胸に死んでいった若者たちがいること。日本人は加害者でもあったことなど戦争の真の姿をもっと知って、本当の平和、豊かさとは何かを考えることが必要」と訴え、会場から大きな拍手を浴びました。

市役所 まつぽ

③⑩ 水道部水道課浄水係

松雪 秀雄



朝日山の北麓にある浄水場(浄水係)では宝満川から約五*の導水管を使って取水。消毒や沈殿、ろ過などの処理を行い、一日平均約二万二千*の水道水を各家庭に送っているほか、施設の維持管理や水質検査など安全で安心して飲むことができる水道水を市民のみなさんに供給できるように頑張っています。

農業

新時代

⑤③

「アスパラガスに続く特産品づくり
市場評価も向上するニガウリ栽培」

「まだまだ手探りの状態ですが、植えるとかわいくなつて手入れも苦になりません」

原古賀町の江副功さん(60歳)はニガウリの栽培を始めて二年目。妻のミスエさんと七月から十月下旬にかけて一

日おきに平均五、六十*のニガウリを出荷しています。

「農協の勧めで栽培を始め、

ミニトマトを作っていた二棟のハウスにのり網を張り約七十本の苗を植え付けています。ニガウリはヘチマのように



昨年から栽培に取り組む江副さん

「ハウスに育つや葉が茂り過ぎると、実際に日光が当たらず緑色が薄くなつてしまいます。」

つるが伸びるウリ科の一年生植物。ハウスの骨組みやのり網につるがまきつき、一本の苗から百本前後の実を収穫で

茂り過ぎぬように切り過ぎぬように枝を整理するのが最も手間のかかる作業です」

「調理法は一般的なみそ炒めのほかに天ぷら、粕漬けジュースと様々。調理法がもっと普及すれば、需要も増えるでしょうね」

続く特産品にと意気込む鳥栖基山農協では一昨年共同選果を開始。毎日一定量以上をまとめて市場に出荷できる体制を確立したことで、一*当たり平均二百円と鳥栖産ニガウリの市場評価も高くなつていきます。

「森の分(文)校」

国際日本文化研究センター
所長・梅原猛先生のメッセー
ジが、平成三年三月一日、萬
歳寺の夕べ九州学への旅立
ちの中で披露された。
「私は武雄の大楠をみた。
三千年をへた巨木である。私
の人生わずか六十五年、この
間にもいろいろあった。まし
て三千年の歴史、彼が生き続
けた人生、いや樹生の長い歴
史、それは日本人の歴史を見

続けてきたのである。三千年
前、日本は縄文時代であった
当世人々は、森の中に木の実
を探し、獣を追った。当時は
うっそうとした大森林が日本
をおおっていただろう。人は
森に生き、森に生かされてい
たのである。あの大楠は縄文
に生まれ、縄文を知っている
のである……中略……生きと
し生けるものは、みな共通の
命を生きている。生きとし生

けるものは全て生と死のリサ
イクル運動を続ける。この命
生命のリサイクル運動こそ、
森の宗教だったのだ。命はひ
とつだったのだ……中略……
いま子供達は個室に閉じこ
もり、物との対話しかない生
活をしている。生命あるもの
との対話のチャンスがない。
里山はかつて、子供達にとっ
て自然と触れ合う場であり、
野鳥、クワガタ、カブトムシ

そして森の中で逢った巨木を
前に、自然に対する畏敬の念
を感じていた。現代ほど、子
供達に「森」の体験が必要な
時はない。アーネスト・ラン
グリアーはこう言った。「自
然と遊びなさい。すばらしい
人間を育てることになる。」
鳥栖にもなじみの深いこの
梅原猛先生を校長として迎え、
鳥栖市の里山に森の分(文)校
を作ろうとする同志の集いで

あった。福岡・佐賀両地域から
自然を愛する若手経済人・学
者・テレビ・新聞人・画家・デ
ザイナー等約三十名が参加。
廃屋や空き地の活用による、
森の分(文)校設立の可能性を
探り、森林保護活用と地域学
(九州学)の研究拠点づくりな
どについて活発な討議がかわ
された。実現はしていないが
その夢は埋み火の如く今も里
山に残されている。(山下)

県内十一チームが参加して
六月二十日、多久市で開かれ
た「第七回全国家庭婦人バレ
ーボールいそじ大会県予選」
で鳥栖チームが優勝を飾り、
十月二十日から山形県天童市
で開かれる全国大会に出場し
ます。
鳥栖チームは市内各地区の
ママさんバレーで活動する五
十歳以上の婦人十三人による
混成チーム。試合では武雄、

にも負けません。
みんな和気あいあ
いと楽しくやって
います」とコーチ
を務める寺崎勢津
子さん(田代本町)。
現在、全国大会に
向けて週一回、家
事を終えた夜八時
ごろから一緒に汗
を流します。
選手は全員がマ



チームワークはどこにも負けない鳥栖チーム

Viva! ビバ
スポーツ 50
いそじバレー県で優勝

全国大会はまず1勝を

山内、伊万里を破り、
決勝は基山と対戦。接
戦の末、セットカウン
ト2-1で下して初出
場初優勝に輝きました。
「バレーはその時々
でわかりま
せんが、チ
ームワーク
だけはどこ
にも負けません。
みんな和気あいあ
いと楽しくやって
います」とコーチ
を務める寺崎勢津
子さん(田代本町)。
現在、全国大会に
向けて週一回、家
事を終えた夜八時
ごろから一緒に汗
を流します。
選手は全員がマ
マさんバレー歴二十年以上の
ベテランばかりですが、全国
大会はほとんどが未経験。
全国大会でもひと花咲かせ
るべく、「ぜひ一勝はしたい」
とみんな口をそろえます。

会社で見つけた
きわやかさん (30)

FA事業部は平成三年
十一月、鳥栖西部工業団
地内に設立。世界最先端
の技術を結集してテレビ
やカメラなどの心臓部で
ある基板の製造装置を製
造し、国内外の電気メー
カーなどに出荷していま
す。輸出が全体の五割を
占め、業界でのシェアは
世界のトップクラスです。
私は総務課に所属し主

に受け付け業務を担当。
世界各地から頻繁にお見
えになるお客様方に対し
温かい対応ができるよう
にと心がけています。
休日は福岡へ出かけ、
天神のファッションビル
でいろいろなお店を見て
回るのが楽しみです。鳥栖は
コンサートなど音楽を中
心に文化事業に力を入れ
てもらいたいですね。



九州松下電器(株)
FA事業部勤務
酒井 優美さん
(21歳、原町)

福祉 10月15日(日)市民公園一帯で 健康まつり イベントフェスタや工業高校生徒作品展も



「めざせ健康 広げよう! ふれあいの心」をテーマに、保健、医療、福祉が一体となつて開く最大のイベント「第十一回市民健康福祉まつり」を十月十五日(日)午前九時から市民公園一帯で開きます。

今回は「肥前歴史街道いきいき道中・イベントフェスタ」と「第四回佐賀県工業高校生徒作品展示会」も同時開催。ご家族そろつておいでください。九時からのオープニングで

は三世代健康福祉宣言や健康家庭、習字コンクール入賞者の表彰などを行います。

十時からは市民文化会館で老人福祉大会、中央公民館でふれあいコンサート、屋外のテントでは市と市内ボランティアグループなど七十団体による健康や福祉に関する展示販売、相談、実演、バザーなど各種催しがスタートします。

肥前歴史街道いきいき道中・イベントフェスタは多目的

広場で開催。バナナのたたき売りや南京たますだれ、ガマの油売りといった大道芸、肥前弥次・喜多によるツにわか(鳥栖市)、「葉隠太鼓(佐賀市)」「相撲甚句(久保田町)」など長崎街道の沿線十五市町が舞台劇や伝統芸能を特設ステージで披露します。

工業高校生徒作品展示会は市民体育館で、鳥栖工業高校をはじめ県内工業高校の生徒が授業や部活動で製作したロボットやサイドカー、住宅模型、ゴーカート、ソーラーカー、陶磁器などの展示や、走行ロボットと相撲ロボットによる競技大会が行われます。

にに応じて就業しています。会員の申し込みなど詳しくは鳥栖市シルバー人材センター(☎843147)へ。

また、十月は「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」。十月十五日(日)の健康福祉まつりでは、手作りお菓子を用意してセンターのPRも行いますので、ぜひおいでください。

保健

健康体操初心者コース

自律神経失調症や腰痛に効果的な呼吸法を用いた健康体操(要の体操と自強術)初心者コースを開きます。

とき 十月二十四日(火)から十一月三十日(木)までのうちの十日間、午前十時〜十一時半
保健センター
持ってくるもの 体操のでき

募集

県民バスツアー参加者

中学生以上の県内在住の方(小学生は保護者同伴で可)を対象に、県内の歴史、文化施設を訪ねる「魅つめよう佐賀・県民バスツアー」を次のとおり実施します。

る服装、くつ下、健康手帳
申し込み 保健センター(☎3650)へ。先着三十人で締め切ります

とき 十一月十二日(日)コース A・B・Cの三コースで鳥栖市役所発着はAコース。行き先は久里双水古墳唐津市、風の見える丘公園(呼子町)、名護屋城博物館・城跡(鎮西町)など

参加料 一人千五百円
申し込み 十月二十日までに

はがきに①希望するコース②利用する集合地③住所・氏名・年齢・性別・電話番号を記入のうえ、〒840-70(県庁専用郵便番号)県庁企画局生活文化課県民バスツアー係(☎0952257340)へ

シルバー人材センター

(社)鳥栖市シルバー人材センターでは「自主・自立・共働・共助」を基本理想に、会員の募集や仕事の受注のほか、会員への各種研修などを行っています。

現在、会員はおおむね六十歳以上の方二百四十五人。仕事の内容は植木の剪定や消毒、除草などの屋外軽作業、駐車場などの施設管理、家事手伝いや介護補助、子守りといった福祉・家事援助サービスなど多岐にわたり、会員の能力

身体障害者対象に県職員

佐賀県職員(一般事務・一人程度)の採用試験を次のとおり行います。

第一次試験 十一月十一日(土)、同十二日(日)

受験資格 身体障害者手帳の交付を受け、障害の程度が一級から四級までの方(このほか一定の要件があります)

受験申し込み 十月十六日から同二十七日までに県人事委員会事務局(☎0952257241)へ。なお、申込書と選考案内は同事務局で交付します

紅葉登山参加者

霧島・韓国岳(一七〇〇m)に登ります。市山岳連盟主催。とき 十月二十二日(日)午前六時出発

集合場所 市役所前広場
申し込み 市山岳連盟・西依

催し

吉野ヶ里フェスタ'95 入場券を好評発売中

吉野ヶ里フェスタ'95が十月七日(土)・八日(日)午後六時から吉野ヶ里遺跡西側の特設ステージで開かれます。

今年には人気の西田ひかるや岩崎宏美のほか、東南アジアから実力派のポップス歌手三

人が勢揃いします。入場料三千円。入場券は市商工課(☎3605)で販売中です。

市立図書館で折り紙教室

とき 十月八日(日)午後二時(低学年向け)▽十月二十二日(日)午後一時半(高学年向け)
ところ 市立図書館二階視聴覚室

相談

行政相談所を開設

十月十五日からの行政相談週間にちなみ「巡回行政相談所」を次のとおり開設します。相談をお受けするのは行政相談委員の東田福男さん(本町)と岡本盛治さん(曾根崎町)。年金や保険、道路、税金、農地、登記、騒音、悪臭など行政一般についてお困りの方はお気軽にご相談ください。

相談時間は午前九時から正午まで。詳しくは生活環境課市民相談係(☎3576)へ。

とき	ところ	担当
10月18日(水)	田代公民館	岡本東田
19日(木)	鳥栖北公民館	岡本東田
20日(金)	鳥栖公民館	岡本東田
	麓公民館	岡本東田
	基里公民館	岡本東田
	旭公民館	岡本東田

暴力団に関する困りごと出張相談

民事・刑事を問わず、暴力団に関する困りごとの相談を弁護士、警察官、暴力追放相談委員がお受けします。相談は無料で秘密は守られます。とき 十月二十四日(火)午前十時〜午後三時
ところ 市役所一階第一会議室
問い合わせ(財)佐賀県暴力追放運動推進センター(県庁内☎095229110)

ご存じですか

危険物取扱者試験

とき 十一月二十六日(日)午前九時(甲種・乙種の一部)、午後一時(乙種の一部・丙種)ところ 佐賀工業高等学校
申し込み 十月九日までに消防試験研究センター(佐賀市☎09525602)へ

商工

願書は鳥栖・三養基地区消防本部に用意しています。

商工会議所講習会「経費削減の戦略」

会社における利益計画のため方、予算管理のあり方、主要経費の個別削減策、総合的経費削減策などに関する講習

会です。

とき 十月二十七日(金)午後二時〜四時
ところ 鳥栖商工会議所二階
受講料 二千円(会議所会員と後援団体は無料)

申し込み 鳥栖商工会議所(☎3121FAX☎888)へ

10月は中小企業勤労者財形制度普及促進月間

労働省では、勤労者の貯蓄

や持ち家取得といった財産づくりに対して国や事業主が援助などを行う財形制度の導入が、大企業に比べ中小企業で不十分ことから十月を「中小企業勤労者財形制度普及促進月間」と定め、制度の導入促進を図ります。

月間中は財形普及推進員が各事業所を訪問し、制度について詳しい説明を行います。これを機会に財形制度の導入を図ってみたいかがですか。

交通安全・河川浄化・下水道・明るい選挙 ポスターコンクール入賞者

市が募集した交通安全、河川浄化、下水道促進デー、明るい選挙啓発の四ポスターコンクールの入賞者が次のとおり決まりました(敬称略)。
また、交通安全ポスターコンクールと河川浄化ポスターコンクールの入賞作品を十月二日(月)から十三日(金)までの十二日間、市役所市民ホールに展示します。子供たちが夏休みに頑張った描いた力作をぜひご覧ください。

●交通安全ポスター【小学生・応募百六十二点】一等 岩橋悠子(鳥栖北小六年)▽二等 赤坂英樹(鳥栖北小六年) 桑原絵美(鳥栖北小六年)▽

●河川浄化ポスター【小学生・応募二百二十九点】一等 酒井龍一(若葉小六年)▽二等 矢野順子(鳥栖北小六年) 齊藤加奈子(鳥栖北小六年)▽三等 岩橋悠子(同六年) 大石隆幸(同五年) 徳淵結花(若葉小五年)▽入賞 緒方

●下水道促進デーポスター【小学生・応募二十二点】金賞 橋本瞳(鳥栖小五年)▽銀賞 田畑未来(同六年) 橋本優(同六年)▽銅賞 吉竹里華(同六年) 轟木岳(鳥栖北小六年) 高尾千絵(若葉小五年)▽入選 佐藤里恵(鳥栖小五年) 三浦潔香(鳥栖北小五年) 古賀裕子(同五年)【中学生・同六十五点】金賞 川浪幸子(鳥栖西中二年)▽銀賞 今泉透(鳥栖中二年) 雨森早地子(同二年)▽銅賞 大鶴直史(同二年) 早田弘

希美(鳥栖小四年) 齊藤慎也(同五年) 榎藤理恵(同五年) 柴田真知子(鳥栖北小二年) 長家亮(同一年) 彌富裕子(同一年) 渡辺綾耶(同二年) 坂口領(同二年) 森永瞳(同二年) 原恵亮(同三年) 喜(同二年) 日山順子(鳥栖西中二年)▽入選 松田直美(鳥栖中三年) 福江大祐(鳥栖西中二年) 山口のみ子(同二年) 藤吉弥生(同二年) 中尾悟(同二年) 松友孝如(同二年)

●明るい選挙啓発ポスター【小学生・応募十一点】金賞 佐藤貴史(田代小六年)▽銀賞 川久保彩(鳥栖小六年)▽銅賞 柴田真知子(鳥栖北小二年)▽佳作 国松香世子(田代小六年)【中学生・同十五点】金賞 徳吉一樹(鳥栖西中一年)▽銀賞 鳥飼恵(基里中二年) 岩谷亮佑(鳥栖中二年)▽銅賞 榎藤あかり(同一年) 齊藤勝英(同二年) 酒井清佳(鳥栖西中二年)▽佳作 牛島妙(同一年) 西村拓也(同二年) 畑耕平(同二年) 村岡恵子(田代中二年)



パパ撮っし
城山桂さん直子さんの長男
かなめ 要くん
(11か月・山浦団地)
●パパからひと言
大きくなったらキャッチ
ボールしようね

在宅福祉サービス利用を後押し

ホームヘルパー 利用に助成金

心身に障害のある方や寝たきりのお年寄りなど介護が必要

な方がいる世帯を
対象に、介護や家事
など日常生活の補助
けをするホームヘル
プサービスを行って
いますが、低所得世
帯では利用者負担金
の増大が利用の障害
となっています。

そこで市では、必
要とする高齢者など
に必要なサービスを
提供するとともに介
護者の負担の軽減を
図るため、十月一日
から生計中心者の前
年の所得税額に応じ

■利用者負担金への助成額 (1時間当たり単価。単位：円)

利用者世帯の区分	利用者負担額		助成額
	現行	助成後	
生活保護法による被保護世帯	0	0	0
生計中心者が前年所得税非課税世帯	0	0	0
〃 所得税年額10,000円以下の世帯	250	0	250
〃 10,001円～30,000円の世帯	400	0	400
〃 30,001円～80,000円の世帯	650	300	350
〃 80,001円～140,000円の世帯	850	600	250
〃 140,001円以上の世帯	910	910	0

て利用者負担金の全部または一部に對して助成を行います。一時間当たりの助成額などは次の表のとおりです。詳しくは福祉事務所高齢者対策係(☎3554)へ。

在宅高齢者住宅改良 補助対象世帯を拡大

市では、介護が必要なお年寄りや同居する世帯で、そのお年寄りの居住に適した住宅の改良を行う場合、所得税非課税世帯または生活保護世帯に限って工事費の一部を補助して

いましたが、十月一日から所得制限を緩和。生計中心者の前年所得税額が障害児福祉手当の支給範囲内の世帯にまで補助の対象を広げます。

また、対象となる工事はこれまでどおり、玄関や浴室、便所などの段差を解消・緩和するための設備(スロープ化)や手すり・シャワーの設置、

浴槽・便器の改良など(ただし、新築は対象外)。補助金の額は、これらの工事費の十分の八で、最高三十二万円までです。

補助金の交付を受ける場合は申請書などを提出する必要があり、事前に福祉事務所高齢者対策係(☎3554)へお尋ねください。

高齢者就職情報

高齢者職業相談室(市役所商工課内)では、高齢者への職業紹介や雇用相談などを行っています。現在企業から次のような求人申し込みがあつています。

詳しい仕事の内容は同相談室(☎3556)へ。

●土木施工管理士(北茂安町)：男20～60歳、20万～30万円

●清掃員(北茂安町)：男55～63歳、12万5千～15万円

●雑務(轟木町)：男55～60歳、12万5千～13万7千500円

●仕上げ作業(藤木町)：性別不問20～60歳、時給650円

●オムツ整理(西新町)：女18～60歳、12万2千500円

●清掃員(加藤田町)：女20～60歳、時給700円



各部門賞と部門賞の入賞者から選ばれた市長賞、市内居住者から選ばれた奨励賞の入賞者は次のみなさんです(敬

称略)。【小学一・二年の部】①賀茂奈保子(福教大附属久留米小二年)②河部梓(田代小一年)③該当者なし【同三・四年の部】①森實泰司(福岡・原北小三年)②野下菜公子(基里小四年)③吉武美岐(筑紫東小四年)【同五・六年の部】①山田紘子(旭小五年)②広島佑子(筑紫東小六年)③井上加奈子(若基小五年)【中学生の部】①乙須広美(姪浜中二年)②山口真弥(鍋島中二年)③水落貴和子(久留米

江南中一年)【高校生の部】①竹尾美耶(久留米信愛女学院高一年)②姉川寿子(久留米・明光学園高二年)②常盤充代(志摩町・福岡雙葉高三年)②藤野誠也(新宮高二年)【市長賞・13人】賀茂奈保子、河部梓、森實泰司、野下菜公子、山田紘子、広島佑子、井上加奈子、乙須広美、山口真弥、竹尾美耶、姉川寿子、常盤充代、藤野誠也【奨励賞・2人】秋山絵里(福岡女学院中二年)鈴木めぐみ(久留米信愛女学院高一年)

■第19回鳥栖「日本の童謡・唱歌を歌う会」

10月21日(土)午後1時～3時半、中央公民館。会費800円(小学生以下は無料)。歌えば歌うほど心にしみてくる童謡・唱歌を一緒に思い切り歌ってみませんか。詳しくは江下サツキ(古賀町☎3176)へ。

■青年海外協力隊30周年記念「青年海外協力隊を知る一日」

10月15日(日)午後1時～5時、アバンセ(県立女性センター)。内容は記念講演や婦国隊員の体験報告、クイズ、ミニコンサート、派遣国の料理試食会、写真パネル・各国民芸品・日用品の展示など。

■久留米高専学校説明会

10月28日(土)午後1時、久留米工業高等専門学校講堂。対象は中学3年生とその保護者または教師。内容は①同校の特色・各学科の紹介②入学試験の説明③個別相談など。午後2時から教室や研究施設などを案内する学校見学会も行います。事前の申し込みは必要ありません。詳しくは同校学生課(☎9316)へ。

■野点へのお誘い

10月14日(土)午後3時～同6時半、中富弘堂宅庭(田代外町)。会費1,000円。毎年、県内留学生を招いて開催しています。市民のみなさんも日本の伝統的なお抹茶を頂きながら留学生と交流しませんか。国際親善ローズアソシエーション主催。詳しくは窪山美子(酒井西町☎1733)へ。

■調停無料相談会

10月6日(金)午前10時～午後3時、鳥栖北公民館。相談内容は金銭貸借、土地建物、交通事故、公害、夫婦、親子、相続などの問題で弁護士や調停委員が相談をお受けします。詳しくは鳥栖簡易裁判所(☎2212)へ。

いけいけ! フューチャーズ

後期開幕から快進撃を続ける鳥栖フューチャーズの松永、タタウ、青嶋ら主力選手二十五人が九月十一日、建設中の多目的スタジアムを見学しました。

現在、工事は全体の約三五%を終了。スタンド三階の鉄骨部分がすでに見え始めており、フィールド部分に立った選手らはJリーグ昇格へ思いをよせ、チームの指揮をとる張外龍コーチは、「ここに立っている」と満員のサポーターの歓声が聞こえてくるようだ。残り試合を全力で戦い、Jリーグに必ず上がる」と気を引き締めています。

さて、今回の選手紹介は若い女性に圧倒的人気のデIFエンダー・今岡茂人選手です。

彼は福岡県遠賀郡出身で昭和四十六年五月生まれの二十四歳。東海第五高校時代はインタハイでも活躍、地元福岡大学を経てフュー



チャーズに入団しました。八月のまつり鳥栖のサイン会に出席した時は、女性ファンが長い列をつくり、ほかの選手からも「あいつはモテる!」とうらやましがられていました。また、試合後などに会場の外で待ち受ける女性ファンのサインや写真撮影に気軽に応じてくれる女性に?優しい好青年です。

昨年からはレギュラーの座を獲得、守りの要として頑張っています。八月のコスモ石油戦で左足を負傷し、ここ数試合は戦列を離れています。早くケガを治して試合での勇姿を見せてもらいたいですね。

「チームワークを大事にしませんが、みんな一生懸命Jリーグ目指して頑張っています。絶対勝ってJリーグに上がります」と力強く語る今岡選手の姿が印象的でした。

9 スタジアム見学Jへ決意新たに



炬燵は今も昔も一家団らんの象徴

今号も暖かい季節に不似合いな話題となりました。

炬燵は最初、囲炉裏に檜を載せ、

中世山城と筑紫氏

Vol.40 島津合戦後 その五

「九州治乱記」によれば、天正十五年五月二十三日、日向・大隅をことごとく切り従えた秀吉は、これより帰陣します。

六月朔日には、肥後に入り八代に帰陣し、同七日には博多に入り、これより二十日ばかり箱崎に逗留します。この箱崎逗留中に秀吉は、九州における諸大名の国替え(九州国割り)を行います。その主要なもの、以下のとおりです。

- 一、豊後一國、大友左衛門督義統
- 一、肥前国内七郡、龍造寺民部大輔政家
- 一、筑前一國・筑後内二郡・肥前国内二郡、小早川左衛門佐隆景

一、薩摩一國、島津修理入道龍伯

一、大隅国内六郡、島津兵庫頭義



秀吉の国替えにより肥前国内七郡を拝領した龍造寺政家画像 (佐賀県教育委員会所蔵)

- 一、筑後国内三郡、立花左近將監統虎
 - 一、筑後国内上三郡、毛利藤四郎秀包
 - 一、豊前国内六郡、黒田勘解由吉高
- 以上、主要な大名について列記しましたが、この時筑紫広門は筑後国上妻一郡を拝領し、山下(現八女郡立花町)へ移住となります。

それに布団をかけて暖をとっていたもので、室町時代あるいは戦国時代ごろに始まったとされています。この形式は「掘炬燵」と呼ばれますが、先月号で紹介したように檜の底に板を張り火容を入れる「置炬燵」や、「腰掛け炬燵」といって熱源(多くが七輪)次号で紹介)を床下四十から五十センチ程度のところにつくり、その上に檜を載せて使うものもありました。

現在ではほとんどの家庭が「電気炬燵」ですが、その普及前は「腰かけ炬燵」が一般的でした。熱源に豆炭や煉炭を使うことが多かったため、昭和二、三十年ごろまで炬燵の中に入り込んでしまった子供達が、豆炭や煉炭の不完全燃焼で一酸化中毒になることが多くありました。

炬燵は、形式が変わっても冬の一家団らんの象徴であり、将来も日本人の生活には欠かせないものとして残っていくでしょう。

消えゆく民具 【生活用具編】

VOL.68 ● 炬燵

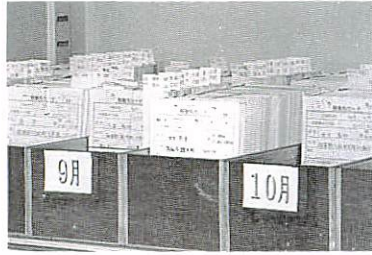
全国またに活躍・田代売薬〈後〉

医薬品配置販売業の許可を持つ販売員は今も市内に約百十人がいて活躍中。肩に大きなふろしき包みを背負う姿は自動車に変わりましたが、律義な販売員に対する得意先の信用は相変わらずです。しかし、高齢化による転廃業が増加するに従い、経営を法人化し、近代企業に脱皮させる動きが活発化しています。

九州で配置薬を製造しているのは曾根崎町にある九州薬品と、基山町の西海製薬、佐賀製薬、鹿島市の森田製薬の県内四社だけ。九州薬品は昭和五十年に市内の肥前、朝日、大化の三製薬会社が合同して発足。年商約二億五千万円、所属販売員八十二名、配置戸数は約十六万戸。

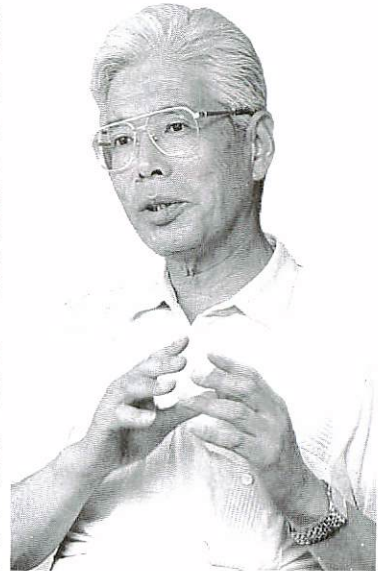


懸場帳は販売員の大切な財産



懸場帳のカード化も合理化のひとつ

配置販売業の現状を、九州薬品の専務で、大村薬品の社長でもある大村柳作さん（56歳、田代上町）に聞きました。大村さんは二十三歳で業界入り。昭和五十九年、零細な個人経営ではどうしても守りになり、得意先を増やすのにも限度があると、法人化に踏み切り、今では販売員八名をかかえ、九州一円を駆け回っています。セールス担当戸数は一人千戸程度。年に四回巡回するので延べ四千戸を訪問することになります。しかも、得意先の転居などで年間千件以上の新規開拓が必要です。各家庭に置いた薬箱に、かぜ薬、胃腸薬、膏薬、軟膏など十七、八種類の薬のほか、最近は健康食品も置いておき、次に訪問したときに使用分の



「配置薬業の理念は“先用後利、精神”と大村さん

代金を受け取り、薬品を補充します。重ね置きといって一軒に同業者が何人も入り込み、ひとつの家に四つも五つも薬箱がある例もあります。販売員が肌身離さず携帯しているのが懸場帳。得意先の住所、氏名、配置薬の数量、金額などのほか、冠婚葬祭に関するものまで記されているものもあり、販売員の大切な財産。得意先との結びつきの深さをうかがわせます。この懸場帳も事務の合理化、省力化を狙ってカード化され、集計にはコンピュータが威力を発揮。おかげで三、四か月かかっていた棚卸しもわずか二十分で正確にできます。「配置薬業の理念は、まず薬を先に使ってもらって感謝され、その後利益を得る」先

用後利”精神。それに自分自身の人間性を売り込むことが大事。これからは社員増や営業所出店で事業拡大をしないと生き残れない。そのためには法人化、協業化などの近代化を進める必要がある」。配置薬業は日本独特の販売形態である先用後利の伝統を引き継ぎ、近代化への脱皮を図りながら、新たな展開をみせようとしています。

DISCOVER TOSU

ふるさと再発見

vol. 5



市の木もちのき (クログネモチ)

市の花 ハナシヨウブ

市の鳥メジロ

人口	平成7年9月1日現在 ()内は前月比		
総数	男	女	世帯数
56,535(-10)	27,028(+4)	29,507(-14)	17,971(+10)

10月の納税

市 県 民 税(3期分) 納期限●10月31日
国民健康保険税(5期分)

水道の修繕

鳥栖市管工事協同組合 ☎84-2500
●水道の修繕はすべて上記へお申し込みください